(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

> 自治体名 宮城県塩竈市

本事業の担当部局名 政策課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業										
区分			一般メニュー									
 関連事業メニュー												
個別事業名			婚活支援	事業		新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続					
実施期間			交付決定日			~ 令和8年3月31日		事業開始年度	令和6年度			
総事業費(A)(円)			1,250		0,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円) <u>180,000</u>		000	差引額(A-B)(円)	<u>1,070,000</u>		
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額			<u>1,250,000</u>									
		区分		金	賃金	金報償費			需用費	役務費		
	総事業費		0		0	0		0	<u>300, 000</u>	0		
費用内訳(円)	対象経費支出予定額		0		0	0		0	300,000	0		
	対象外経費支出予定額		0		0	0	0		0	0		
	区分		委託料		使用料及び賃借料	備品購入費	負担金		補助金	計		
	総事業費		<u>950, 000</u>		0	0		0	0	1, 250, 000		
	対象経費	対象経費支出予定額		0, 000	0	0		0	0	1, 250, 000		
	対象外経	対象外経費支出予定額		0	0	0		0	0	0		
	0		※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。									
自治体における少子化 対策の全体像及びその 中での本個別事業の位 置付け			本市では、令和4年度より開始した第6次長期総合計画において、人口減少を克服し、少子高齢化の進行に歯止めをかけるため、子育て世帯の移住・定住を促進するとともに、子どもを産み育てやすい環境を整え、持続可能なまちを目指すことを基本構想として掲げている。その実現に向けては、出会いの場の創出を行うほか、結婚・出産時の経済的支援、妊娠期からの伴走型支援体制の整備、子育て世帯の移住促進、子育てを地域全体で行う機運の醸成等に取り組み、若い世代に選ばれるまちづくりを進めている。 <本個別事業の位置付け> 少子化対策として、若い夫婦や子育て世帯に選んでいただけるまちを目指している。その一環として、交際率を高めるため、婚活に関するセミナーを実施するとともに、本市の地域資源を生かした独自の婚活イベントを開催するなど、出会いのきっかけとなる場の創出を行うことで婚姻及び本市への定住へ結び付けるもの。									
	番号	項	目	内容								
個別事業の内容	婚活イベン アップセミナ		一の開催									

・イベント当日の最終プログラムとして、マッチング企画を含めていたが、対面から異性選択まで時間が短かったことから、判断が難しいと感じる参加者もいた。このことから、開催時間や企画内容を充実させ、判断材料が増える工夫を加える。
・応募資格年齢を25歳から39歳としていたが、30代後半の応募が多かった。カップル成立数は目標に達していたが、同世代間のマッチング率向

上によって、より結婚に結び付きやすくするため参加資格年齢や参加人数を見直す。

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要	令和13年将来人口			50,000(R13年度)	51, 780 (R6. 11)
業績評価指標(KPI)及び	年少人口			5, 900 (R13)	5, 203 (R5)
定量的成果目標					
※全事業共通					
	項目			直近の実績値(時点)	
参考指標	合計特殊出生率			1. 15 (H30~R4)	
※全事業共通	婚姻件数			164 (R4. 1/1~12/31)	
	婚姻率			3.10(令和4年度・国の算定方式に倣って計算)	
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	セミナー・イベント参加目標人数の達成	人	<u>60</u>	17 (R6年度)
	2	イベントカップル成立数	組	<u>10</u>	4 (R6年度)
	3				
	4				
個別事業の重要業績評	5				
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)			
成果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80	82.3(R6年度)
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	<u>80</u>	<u>なし</u>
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	4	自身の婚活に役立ったと思う参加者の割合	%	80	76.4 (R6年度)
	5				
	6				
	7				
	8				